

競技・審判上の注意

1, 本大会は、令和7年度公益財団法人日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程並びに同公認審判員規程により行います。

2, 両体育館とも開館 午前8時30分を予定 (2日目:午前8時20分開館予定)

大会前日の練習コートの開放はありません

競技開始 1日目 午前9時20分~

2日目 午前9時00分~

・種目 1日目:男女複 全試合および男子単

2日目:混合複 全試合および男子単の残りの全試合

※開会式は、両会場ともに放送による簡易的な形で行います。

3, 今大会のプログラムは紙媒体での配布はありません。鹿児島県バドミントン協会のHPよりダウンロードしてご活用ください。

パンフレットの省略に伴い、各体育館での受付窓口も設けません。領収書等が個別に必要な方は本部へ申し出ください。

4, 試合の案内後は速やかにコートに入り、選手確認、背面チェック後、主審の指示により公式練習2分間を設けます。大会の迅速な運営にご協力をお願いします。

5, タイムテーブルには、コート別に試合順が示されていますが、あくまでも目安であり、流し込み方式で行います。また、試合の進行状況により試合順序や開始時刻を変更して試合を行うことがありますので、場内放送に注意してください。

6, 試合の案内後、10分を経過しても当該プレーヤーがコートに入らない場合は棄権とみなします。その最終判断はレフェリーが行います。

7, 連続試合の場合は、原則として試合終了後10分の間隔を置き、次の試合を始めます。

8, 試合中の水分補給については、必ず主審の許可を得てください。容器についてはフタ付きのものとし、床面にこぼさないように注意してください。飲み物用のトレイは置きませんので、コートサイドの各自のバッグ等の中に置くようにしてください。

9, コーチングシート(コーチ席)は、所定の位置に2席用意しております。

10, 試合時の服装で、色付き着衣を使用する場合は(公財)日本バドミントン協会の審査合格品とし、上衣の背面には都道府県名を明記してください。文字列の大きさについては、(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条によるものとします。

- 11, 試合中のケガや病気の場合は、主審の判断によってレフェリーを呼び、レフェリーが医療役員やその他の人をコートに呼ぶ必要があるかどうかの判断を下します。なお、試合中のケガや病気の応急処置は主催者側で行いますが、その後の処置については各自の責任で行ってください。
- 12, マッチ中のアドバイスは、シャトルがインプレーでない場合で、プレーヤーがサービスとレシーブのために位置につくまでの間に限り受けることができます。また、プレーヤーはマッチ中、主審の許可なしにコートを離れた場合は遅延行為とみなします。(インターバルを除く)
- 13, 携帯電話は、試合中電源を OFF にしてください。警告、フォルトの対象になります。また、モバイル機器 (iPad 等) を使用しての試合中のアドバイス、コーチングは、禁止します。
- 14, 試合終了後、主審の方は、スコアシートを本部席まで持ってきてください。敗者はそのままコートに残り、次の試合の線審をお願いします。
- 15, 閉会式、表彰式については、以下のとおりです。
・閉会式は行いません。
・表彰は、入賞者（1～3位）の順位が決定し準備が出来次第、隨時所定の場所で行います。入賞者には賞状、優勝者には楯が授与されます。
- 16, 競技区域フロア以外でのシャトル打ちはご遠慮ください。（特にロビーや体育館外）
- 17, プレーヤーがやむを得ず棄権する場合は、必ずレフェリーまたは会場責任者にその理由とともに連絡をしてください。その場合、レフェリーの判断により、それ以降の種目の試合には参加資格が失われることがあります。
- 18, 両会場とも、昼食は観覧席等でお取りください。
また、ゴミはすべて各自でお持ち帰りいただきますよう、ご協力をお願いします。
- 19, 駐車場について
・実総アリーナには約 300 台、F アリーナいちき串木野（試合会場）には約 500 台分の平面駐車場があります。当日は、できるだけ乗り合わせてご来場いただくとともに、譲り合いの気持ちをもって駐車マナーの遵守にご協力ください。